

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2991000015
法人名	メディカル・ケア・サービス関西株式会社
事業所名	愛の家 グループホーム 香芝
所在地	奈良県香芝市五位堂一丁目341番地1
自己評価作成日	平成21年11月13日
評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kohyo-nara.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人カリア
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル
訪問調査日	平成21年11月27日
評価結果決定日	平成21年12月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様、職員共に楽しい雰囲気の中日々の生活が送れることを意識し支援させて頂いていま

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

最寄りの駅より徒歩10分程度の所にあり周囲には保育園、小学校が近くにあり子供達の声がか聞こえてくる。開設して2年過ぎ。理念に掲げている地域の人々とのふれあいを大切に、ということ常を職員間で共有され日々努力されています。ホーム内は家庭的な雰囲気の中で、職員は利用者の方に寄り添った暖かい、きめ細かな支援がなされています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果	項目	取り組みの成果
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

ユニット名 (虹)

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を共有できるよう 日々職員に伝えられています。	職員間で毎日理念の唱和を共有されていますが、全て実行されているかという点に十分に出ていない部分もあるようです。	開設してまだ日が浅く、地域とのふれ合いの機会が少なく十分ではないようですが、今後積極的に行動していこうとする意気込みに期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	行事の時など、町会様に参加の声掛けをさせて頂いていますが、少しずつ理解を得ている状況である。	施設内で行う夏祭りなどには、地域の方々にお声を掛け出向いて来て頂いたりと徐々に交流を深める努力されています。	ホーム長を先頭に職員全員が、施設と地域の垣根を外した交流を望まれており、積極的に地域に出向いていく機会を増やされることに期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	クリーンデイの日には、スタッフと自立の方に参加を頂き、少しでも地域の方々との交流を図っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の参加率が悪く、意見も少ない為、なかなか情報などの交流が図れない。	開設してまだ日が浅いせいか、参加率が思わしくなく十分に出来ていないようですが、ホーム長さんも意欲的で前向きに取り組もうと努力されているのが伺えました。	市町村の職員の方、ご家族さんに参加を促すきっかけをつくる工夫などして頂き、今後定期に開催出来て行かれるように期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	何かあれば、市町村に連絡を取り、アドバイスを受ける様にしています。	何かあれば相談されたりしていますが、再々出向いて行ってという交流は今まではされていません。	今後、現場での問題点など課題解決に向け協議していけるような関係を作り、行政と連携を深め、地域との交流を深められるように期待します。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	危険防止の為、玄関のみ施錠を行なっています。	拘束の意味は職員間で共有されて取り組まれています。万が一の危険防止のため玄関は施錠されています。	玄関の鍵を外せる工夫、センサー、ドアが開くと鈴が鳴るなど、見守りを欠かさない、職員間で共有されるケアの実践に期待します。玄関がオープンになれば地域の方々も自然な形で出入りできるかと思えます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止の為の、勉強会が実施されています。又、虐待の起きない現場作りに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の参加が出来ておらず、認識不足の点が多いと思います。今後は研修などに参加させて頂き、活用し、支援につなげていきたいと思っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学される時には必ず不明点が無い様にご説明させて頂いています。アンケートなどで疑問点があれば、すぐ対応させて頂きたいと思っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様の思いを知るため日々コミュニケーションを大切に、援助方法の改善につとめています。ご家族様につきましてはアンケートや家族会等でご意見頂き、反映できるよう努めています。	面会時必ず、ご家族にお声を掛けご意見、要望など聞かせて頂くように心掛け、又アンケートなどで職員間で話し合い運営に反映できるように努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフの意見は、日々や会議等にて聞く機会を設け反映していけるよう努力しています。HLとの面談の際には自分の意見を伝えており考慮してくださっています。	日常的に職員の意見を聞いてくれたり、ホーム長等に何でも話易い環境であること、ヒヤリングの中で確認できました。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力をしている方については、感謝の気持ちを忘れず、声掛けをさせて頂いています。やりがいを持って頂ける様に一人ひとりを見守りに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ一人一人とのコミュニケーションを大切にしています。ホーム外での研修は、スタッフに受けて頂く機会をあまり設ける事が出来ませんでした。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	講習会等に参加させて頂き、いろいろな方のお話を聞き、自分の柔軟な切り替えが出来るようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	直接的な関わり、間接的な関わり、又その方をよく観察し、ご本人様の思いをできるだけ理解できるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の面会時等には、ゆっくりお話できる時間を設けるようにつとめました。又、ご家族様からの意見を聞いたスタッフは伝達を行い、改善できるように努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何が今必要なのか、ご本人様、ご家族様の意見を聞き、カンファレンスにてスタッフとも話し合い見極めるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	援助させていただくだけでなく、スタッフも手伝って頂く機会等を設け、感謝の気持ちを伝えるようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	物事を進める際には必ず、ご家族様と相談し、決定するようにしています。ご家族様が感謝して下さるように、こちらでも感謝の気持ちを伝えるようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの事柄については、会話の中でそのお話をし、思い出して頂ける様にと心掛けています。	ご本人、ご家族との話し合いの中で知り得た個人の情報等は出来るだけ取り入れ対応されています。農業をされていた方に季節の野菜作りを託し収穫まで、水やり、草引きなどして下さり、本人も生きがいを持ってやられたそうです。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の中には、会話の少ない方もおられますので、フロアの座席の工夫や、スタッフが間に入る等にて対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去される際には、今後のお話などさせて頂いていますが、他施設に行かれる際には、その施設の方に状態を詳しく伝える様にしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望、意向を把握するため、一人一人とのコミュニケーションを大切にしています。その上で、ご家族様、スタッフと話し合い援助方法を検討させて頂いています。	日々の様子やコミュニケーションで本人の意思、思いを確認しながら、その方に合った支援を目標にされています。困難な場合はご家族との関わりの中で情報を得るようにされています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や、サービスの経過等はできるだけ把握できるよう、ご家族様にも情報提供して頂きながら、努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人様のペースを大切に、支援させて頂いています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画につきましては、ご家族様、NS、ケアマネ、スタッフの意見を聞き進め、決定しています。	本人、ご家族職員が話し合い、意見、要望を聴き介護計画が立てられています。モニタリング、状況の変化などその時々に見直され、ご家族の捺印もいただけてます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、気づきがあれば、気づき用紙、個別記録に記入しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な支援の提案を見つけるためユニットの会議や、NS等出来るだけ多くの意見を頂くようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練や地域の方々の方々のボランティアをつのれる様に声掛けを行なう事で少しずつでも地域の方々とのふれあいを図っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週一回かかりつけ医の受診(往診)その他、受診が必要である場合はご家族様にも協力して頂き、受診して頂いています。	週一回、かかりつけ医の往診があり、希望のかかりつけ医への受診は家族同行で自由にして頂いています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	小さな異変もNSIに必ず報告するようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合は、定期的に面会に伺い、入居者様とのコミュニケーションに努め、その際情報収集を行なっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期となった場合には上司と相談し、その旨を、ご家族様にご説明、相談させて頂いています。	終末ケアの研修会などへの参加があり、今はされてませんが、将来的には実践していきたいという意気込みが見られました。	今後、施設内で看取りの研修会などに取り組みされ職員間で共有され、看取りを受け入れられる体制づくりに期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故が起きた時の対応連絡手順はスタッフに伝え対応しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を行い、常に対応できる様に努力し、確認をしています。	年二回消防署員の協力を得て、利用者の方と一緒に訓練されています。	施設内の訓練だけでなくとどまらず、今後地域の方にも声を掛けられ、地域住民との協力体制の元を実施されることに期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格や誇りを考慮した声掛けを心掛けています。	職員の利用者の方への、自己決定しやすいさりげない、声掛け、介助が訪問中に確認できました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まずは、ご本人様の思いや希望を聞き、相談の上、物ごとを進めていけるよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切に、決して職員のペースに合わせることをないようスタッフ一同支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみ、おしゃれをして頂けるよう、見守り支援を行なっています。又、ご家族様にも情報提供して頂き、これまでのご本人様のおしゃれ方法を知ることが出来るよう努めています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できることは、ご自分でして頂けるよう、見守りを行いながら、準備や片付けをして頂いています。	食事形態もその方に合ったように調理され、美味しく頂いてもらえるように工夫されています。又、可能な方には見守りながら下膳、テーブルを拭いたりの手伝いもされおり、職員と一緒に会話が弾み楽しく食事されていました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量の把握が出来るよう日々チェックを行い対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前のうがい、手洗い、食後の口腔ケアは行って頂けるよう声かけ、介助を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックにて、排泄パターンの把握に努めています。又、できるだけおむつ等の使用を減少できるよう、排泄パターンをさぐり、対応しています。	毎日の個人の排泄チェックを記録し、排泄パターンにあわせた声掛け、誘導されています。昼間はリハビリパンツと布パンツで対応されるなど行動の妨げにならないような配慮がみられました。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一日の中で、身体を動かして頂ける時間を持って頂けるよう支援しています。又排便チェックを行い、把握出来るよう努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	日々、ご本人様に確認し、入浴して頂いています。自己決定が難しい方、介助が必要な方につきましては、清潔保持のため、定期的な入浴をして頂いています。	本人さんのその日の希望を確認して入浴していただいています。利用者さんのご希望にあわせ、夜間入浴も今後取り組んで行きたいというホーム長の声を聞くことができました。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は決めず、一人一人のペースで就寝して頂いています。就寝前には温かい飲み物を提供しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の薬の把握に努めています。薬の変更があった場合には、注意し様子観察し、NSに報告を行なっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の楽しいと思われる事柄をさぐり、スタッフ同士伝え合い、対応しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、ドライブにて外気にふれて頂く機会を設けています。ご本人様からの希望(普段行けない場所)については個別サービスやご家族様の協力にて対応しています。	お昼前に数人の方がドライブに行かれとても楽しそうに帰ってこられました。日常的に利用者さんのご希望に合わせ散歩、ドライブなど出かけることが多いようで、地域の方との交流もこんな形で徐々に増してきてるようです。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は事務所に管理していますが、ご本人様の希望時には、買い物に言って頂き、ご自分で買い物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には、ご本人様からの電話や手紙をして頂いています。その際には、ご家族様のご都合も把握し、対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂には季節感のある飾りつけを心掛けています。	共同空間の場では、調理する音、香りが漂い生活感が感じられました。クリスマスが近づいているので利用者さんと一緒に飾りつけをされていましたが、適度なもので違和感がなくごく普通の家庭で過ごされているような感じでした。室内の明るさ、色など落ち着いて過ごせる配慮がなされていました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間では、孤独感を感じられることのない様、入居者様同士の会話を大切にしながらスタッフも間に入り、楽しい雰囲気作りを心掛けています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、家で使用されていた物、家具等を置いて頂き、安心できる空間作りをしています。	仏壇を祭られている方、各居室にはそれぞれ家庭で使っていた馴染みの家具が置かれ、手作りのカレンダーなど掛けられていてホットするものがありました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活を送って頂ける様に出来ること、わかることを増やせるように間接的な支援も大切にしています。		